

平成17年10月30日

従業員各位

株式会社 徳 ・株式会社傳六  
株式会社 傳七・有限会社和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。  
私たちの携わっている仕事はそもそも何か、どうあるべきかという事を私はよく自問します。その中で自社の繁栄と私を含めた従業員一人ひとりの人生の充実をいかに一致させるかという事にいつもいきつきます。これは単に給料が高いというだけではなくそれぞれの従業員の皆さんが何らかの形で会社を辞めるときに「この会社においてよかった」と思っていたけるようにならないとだめと考えます。現在なかなかそこまで至っておりませんがこのことが会社経営の本質である事は間違いありません。それではなにをもってそう感じていただけるのでしょうか。それは**自己の成長と自己実現**です。つまり自身の想いがかなう、また、なりたい自分になる事が出来る、新しい自分を発見できるということです。価値観が違うため詳しい中身はそれぞれ異なりますが、私は皆さんには自己の成長と自己実現を達成するために出来る限り適材適所で自身の能力を高め、発揮できるチャンスとフィールドを提供し続けようと思います。最後に禅の研究に96年の生涯を傾注された鈴木大拙先生が残された言葉を紹介します。「人間は偉くならなくても一個の正直な人間となって信用できるものになるならそれで結構だ。真っ黒になって黙々として一日働き、時期が来ると さよならで消えていく。このような人を偉い人と私はいいたい」簡単だが深遠な幸福論といえます。

「私たちはお客様のために**常に**新しいことに挑戦し、食生活に**新たな価値**を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々